

ポリマーセメント系吹付け材 リフレGショット

リフレGショットとは...

リフレGショットは、吹き付け施工性にすぐれたポリマーセメント系断面修復材です。

リフレGショットの特長

1. 現場で所定量の水と混練するだけで安定した性状のポリマーセメントモルタルを製造することができます。
2. 吹き付け施工時のはね返り、ダレが少なく、天井面において約30mmまで一度に厚付けが可能です。また、その後の左官仕上げが容易で、良好な仕上がり面が得られます。
3. 高機能性特殊短繊維を配合しているため、乾燥や衝撃などによるひび割れに対して高い抵抗性を示します。
4. 高機能性特殊粉末樹脂を配合しているため、既設コンクリートに対して付着性に優れ、下地との一体化が図れます。
5. 特殊無機系材料を主成分としているため、長期にわたって安定した性能を発揮し、耐久性、耐候性に優れています。

断面修復工の施工環境管理

- ・ 施工時及び養生時の気温が5～40℃で、結露しない環境下にて施工を行って下さい。
- ・ 施工後強風・降雨・直射日光を受けないよう配慮願います。
- ・ 5℃を下回ると考えられる場合はジェットヒーター等を用い作業場の雰囲気温度を上げて下さい。
- ・ 氷点下の気温が予想される場合は施工を中止して下さい。
- ・ 酷暑時には、練り上がり温度が概ね30℃以下になるよう、練り水に冷水を用いる等の対策を講じて下さい。

取り扱い上の注意

- 本製品は強いアルカリ性を呈し、目、鼻、皮膚等を刺激したり、粘膜に炎症を起こすことがあります。
- 作業時には、保護手袋、防塵マスク、防塵眼鏡等を必ず着用して下さい。
- 目に入った場合は、きれいな水で十分に洗眼し、直ちに専門医の診察を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合は、きれいな水で十分に洗い流して下さい。



荷姿：
20kg紙袋入り

荷姿は製造の都合等により予告無く変更する場合がありますので予めご了承下さい。

標準配合

	リフレGショット	水	練り上がり量
1袋 配合	20 kg (1袋)	3.8～4.2 kg	約12.8ℓ
1m ³ 配合	1560 kg (78袋)	304 kg	約1000ℓ

外気温、水温、練り上がり温度、湿度等により、可使用時間、施工性が変わるため、施工性の確認を行いながら、規定水量の範囲内で混練水量を調整する。

リフレGショットの物性の一例

項目	材齢	試験値	試験方法	
混練水量	%	—	19.5	(水/リフレGショット) 質量比
圧縮強度 (N/mm ²)	20℃	1日	10.3	JIS A 1171
		7日	34.2	
		28日	41.3	
曲げ強度 (N/mm ²)	20℃	1日	3.2	JIS A 1171
		7日	5.4	
		28日	8.0	
付着強度 (N/mm ²)	20℃	28日 (モルタル板) 標準養生 2.0 温冷繰返し 2.4	JIS A 1171に準拠 建研式付着試験機を用いて測定	
		28日 (コンクリート板) 標準養生 2.7		
長さ変化率 (×10 ⁻⁴)	20℃	28日	-6.8	JIS A 1171
線熱膨張係数 (1/℃)	—	—	1.52 × 10 ⁻⁵	JIS A 1171
静弾性係数 (N/mm ²)	20℃	28日	1.92 × 10 ⁴	JSCE-G502
促進中性化深さ (mm)	—	28日	0	JIS A 1171

※上記のデータは代表値であり、品質保証値ではありません。

施工手順及びポイント

下地処理

1. 下地コンクリートの浮き、脆弱部、レイトンス、油類などを除去します。
 2. 鉄筋部分は錆を落とし、防錆材などによる防錆処理(注1)を行います。
 3. 下地コンクリートを十分に水洗いし、湿潤状態に保ちます。水洗いが不可能な場合は下地をエアブロー等で良く清掃し、プライマー処理(注2)を行って下さい。
- (注1) 当社製品「 α 防錆ペースト」をお勧めします。
 (注2) 当社製品「リフレトリート」をお勧めします。

材料の混練

混練はモルタルミキサーを用い5分間以上混練します。十分な混練を行わない場合、練り上がりからのコンシステンシーの低下が大きくなり、ポンプまたは圧送ホースの閉塞を生じやすくなり、施工性が大きく低下するため、十分な混練が必要です。

吹付け施工前準備

- ・吹付けを行う前に必ずセメントノロ水を装置内に通した後、混練したリフレGショットを圧送し、圧送ホース内のノロ水が完全にリフレGショットに置換されてから吹付けを行って下さい。
- ・吹き付けノズルチップ内径、モルタル圧送量、空気量等を調整して、吹き付けノズル先からリフレGショットがミスト状に吐出するように試し吹きにより確認した後、リフレGショットの吹付けを行って下さい。

吹付け

- ・リフレGショットの1回の吹付け厚さは、床版等の上向き施工では30mmを、柱・梁等の横向き施工では50mmを上限とし、それ以上の断面修復厚さの場合には数回に分けて施工を行って下さい。
- ・最終層の吹付けは仕上げのコテ押さえ作業性を考慮し、10~15mm程度で吹付けが出来るように中塗り層の塗り厚みを調整します。

打ち継ぎ

リフレGショットの打ち継ぎ間隔は下吹きの際の指触硬化(しまり)を目安とします。

参考：リフレGショットの打ち継ぎ間隔の目安

冬期 外気温5~15℃	標準 外気温16~25℃	夏期 外気温26℃以上
4~6時間以上	2~3時間以上	1~2時間以上

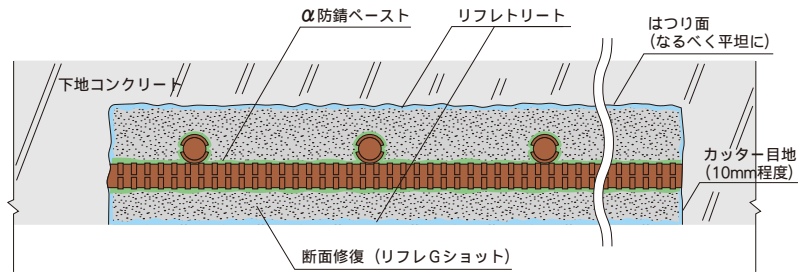
打ち継ぎが翌日以降になる場合は、打ち継ぎ面に当社製品「リフレトリート」を100g/m²を目安に噴霧器等を用い塗布します。

仕上げ吹き

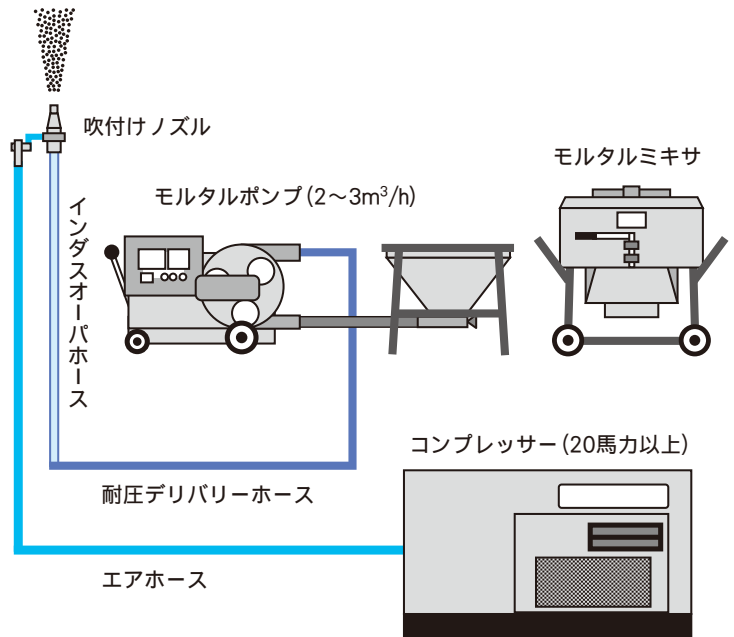
仕上げ吹き後、木ゴテ等を用い均した後、しまりを確認し(1~2時間後)、「リフレトリート」を60g/m²を目安に噴霧し、コテで軽く押さえ最終仕上げとします。

過度のコテ押さえ・定規ずりは仕上げ層の付着を阻害したり、剥離の原因となるので避けるようにして下さい。

標準施工図



吹付け装置の一例



施工写真



吹付け状況



仕上げ状況

使用および取扱いの前に、当製品の安全データシート(SDS)をお読みください。本カタログの記載内容については、予告無しに変更する場合がありますので、予め御了承願います。

住友大阪セメント株式会社 建材事業部

- | | | | |
|----------------|--------------------------------|-----------------|------------------|
| 東京 千105-8641 | 東京都港区東新橋1-9-2(汐留住友ビル20F) | 電話 03(6370)2721 | Fax 03(6370)2759 |
| 大阪 千530-0004 | 大阪市北区堂島浜1-4-4(アクア堂島東館15F) | 電話 06(6342)7704 | Fax 06(6342)7708 |
| 名古屋 千450-0003 | 名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル3F) | 電話 052(566)3202 | Fax 052(566)3273 |
| 札幌支店 千060-0003 | 札幌市中央区北三条西2-10-2(札幌HSビル10F) | 電話 011(241)3901 | Fax 011(241)1017 |
| 東北支店 千980-6003 | 仙台市青葉区中央4-6-1(SS30ビル3F) | 電話 022(225)5251 | Fax 022(266)2516 |
| 北陸支店 千920-0849 | 金沢市堀川新町2-1(井門金沢ビル7F) | 電話 076(223)1505 | Fax 076(223)0193 |
| 四国支店 千760-0033 | 高松市丸の内4-4(四国通商ビル6F) | 電話 087(851)6330 | Fax 087(822)6870 |
| 広島支店 千732-0827 | 広島市南区稲荷町4-1(広島稲荷町NKビル7F) | 電話 082(577)7645 | Fax 082(577)7646 |
| 福岡支店 千812-0011 | 福岡市博多区博多駅前1-2-5(紙与博多ビル8F) | 電話 092(481)0186 | Fax 092(471)0530 |

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は